

# 相関構造解析法のためのNMR相互作用による創薬基盤技術の開発 エピゲノム関連タンパク質と低分子化合物のスクリーニング法の開発と支援

## [技術の概要]

### 支援メニュー

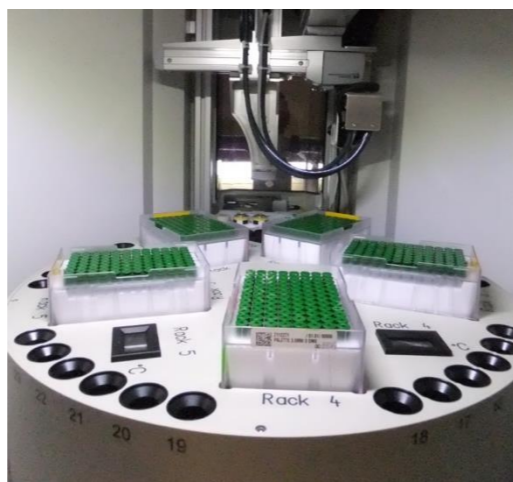
- エピゲノム関連タンパク質のように柔らかくて結晶化が困難な天然変性タンパク質の相互作用部位の同定と認識構造の解明
- 自動測定による標的タンパク質結合化合物の大量スクリーニング
- 世界最高感度950MHz LC-NMRによる代謝化合物の同定
- 900MHz固体NMRによるタンパク質の測定

### 支援に供する設備

フロー型TCI  
クライオ  
プローブ付  
950MHz  
LC-NMR、  
700MHz  
LC-NMR



自動測定: 10cm  
の試料管が480本

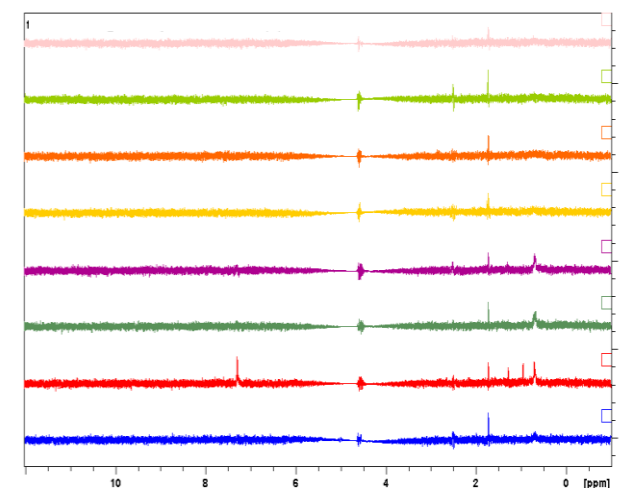


## [技術の利用例]

LC-MSで同定できなかった化合物のLC-NMR装置の利用による分子構造の同定

標的タンパク質結合化合物のスクリーニング

Sample Jet(480本)と自動測定ソフトを用いて3,328化合物の標的タンパク質との結合の有無を23日でNMR測定により判定



### 連絡先

[所属] 横浜市立大学大学院  
生命医科学研究科

[名前] 西村善文

[E-mail] [nisimura@tsurumi.yokohama-cu.ac.jp](mailto:nisimura@tsurumi.yokohama-cu.ac.jp)